

四国横断自動車道 佐賀～四万十
第1回 説明資料

平成25年12月11日
国土交通省 四国地方整備局

目 次

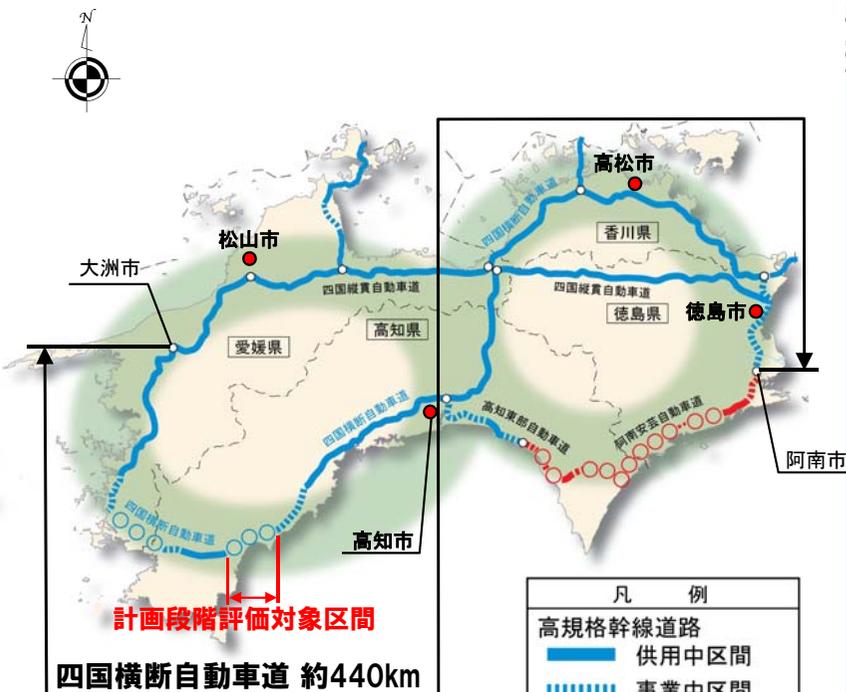
1. 評価対象区間	...	2
2. 地域の現状と課題	...	4
3. 道路の現状と課題	...	11
4. 政策目標(案)	...	15
5. 意見聴取方法(案)	...	17

1. 評価対象区間

1. 評価対象区間

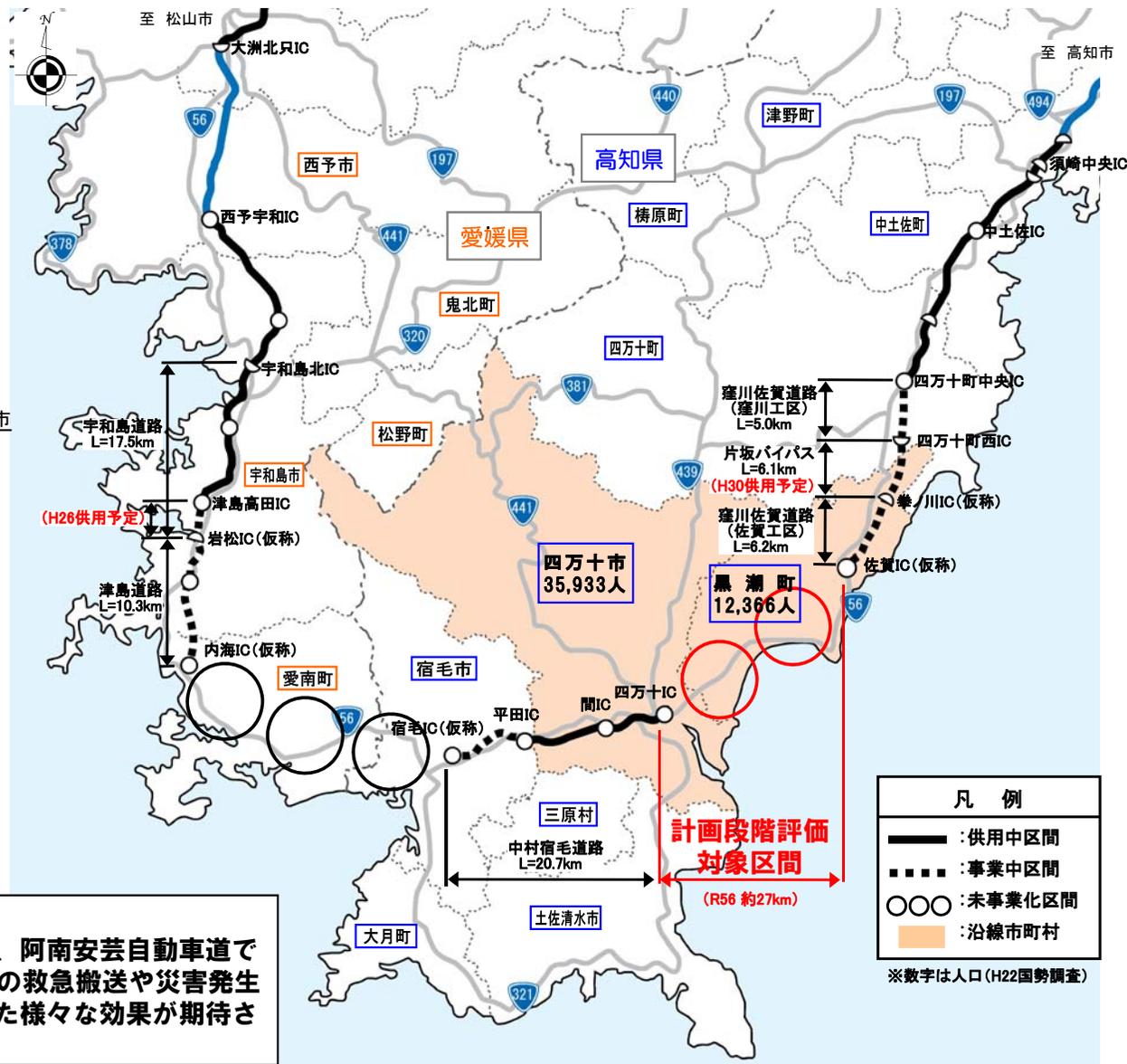
- 評価対象区間は、『四国8の字ネットワーク』を構成する四国横断自動車道の一部。
- 沿線の黒潮町、四万十市は四国西南地域に位置し、県庁所在地の高知市まで約110km。

▼広域図



凡 例	
高規格幹線道路	
供用中区間	— (Blue line)
事業中区間	— (Orange line)
未事業化区間	— (Red line)
地域高規格道路	
供用中区間	— (Blue line)
事業中区間	— (Orange line)
未事業化区間	— (Red line)

▼沿線市町村と四国8の字ネットワークの整備状況



凡 例	
供用中区間	— (Blue line)
事業中区間	— (Orange line)
未事業化区間	— (Red line)
沿線市町村	■ (Orange shaded area)

※数字は人口 (H22国勢調査)

※四国8の字ネットワーク

⇒ 四国縦貫自動車道、四国横断自動車道、高知東部自動車道、阿南安芸自動車道で構成される全長約810kmの高速交通ネットワークで、平常の救急搬送や災害発生時の「命の道」としての役割や観光・産業の活性化といった様々な効果が期待されます。

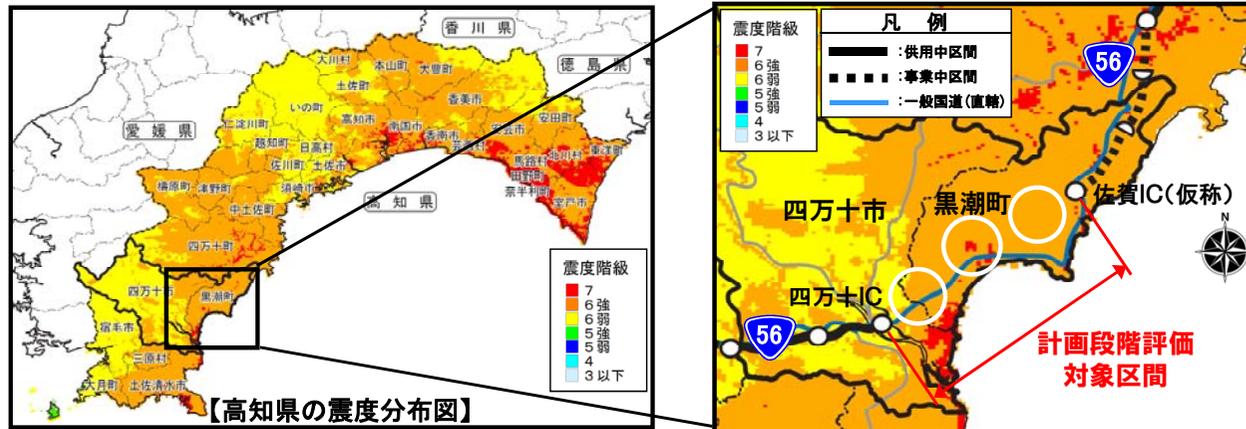
2. 地域の現状と課題

2. 地域の現状と課題(地震・津波)

現状・課題

- 黒潮町・四万十市において、南海トラフ巨大地震により、震度7が予測されている。
- この地震により発生する最大津波高は、黒潮町では、全国で最も高い津波高34mが予測されている。
- 当該地域では、地震・津波発生時に、地域が分断・孤立することや、確実な避難ができるかが課題となっている。

▼黒潮町・四万十市は震度7



出典：H24.12.10「【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」公表資料

▼高い津波により広範囲で津波浸水被害が想定

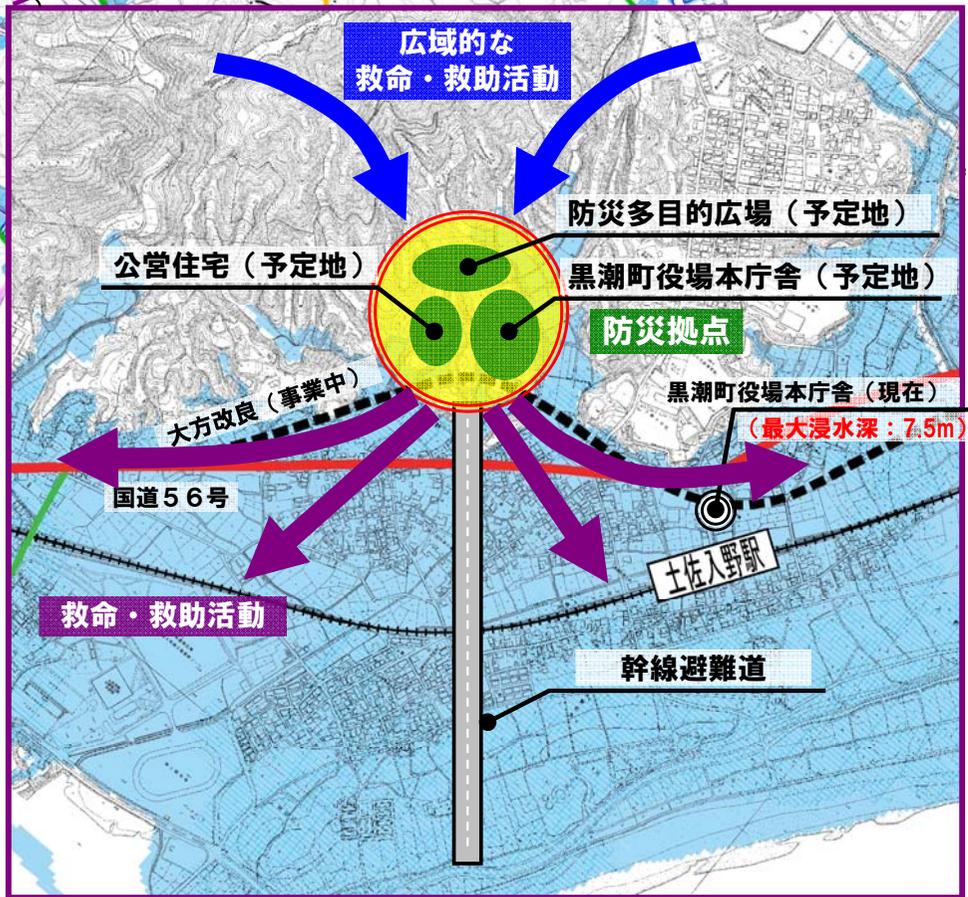
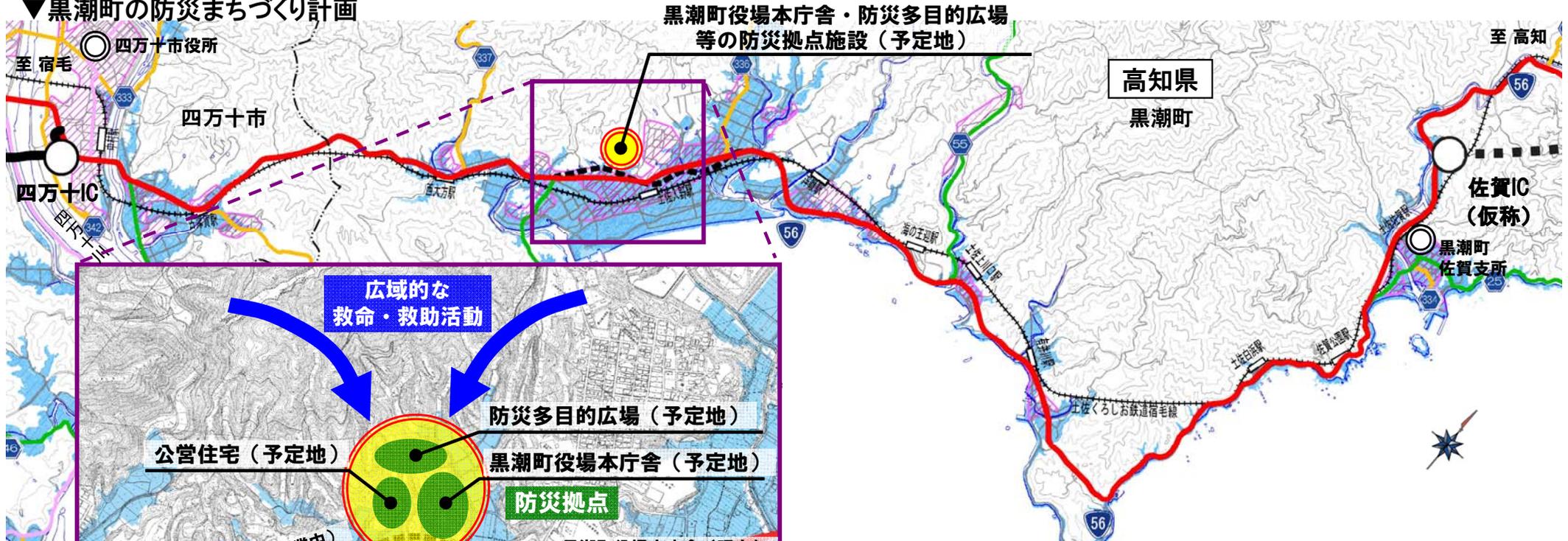


2. 地域の現状と課題(地震に備えた防災まちづくり)

現状・課題

- 黒潮町や四万十市では、南海トラフ巨大地震の被害軽減に向け、防災拠点施設の高台整備などの防災まちづくりの検討が進められている。
- 防災拠点施設への円滑な救命・救助部隊のアクセスを確保することが今後の課題となっている。

▼黒潮町の防災まちづくり計画



———	供用中区間
■ ■ ■ ■	事業中区間
———	一般国道 (直轄国道)
———	一般国道 (補助国道)
———	主要地方道
———	一般県道
◎	市役所・町役場 (支所)
//////	市街地・集落
+++++	土佐くろしお鉄道
■■■■	津波浸水予測域

出典: 津波浸水予測域 H24.12.10「[高知県版第2弾] 南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」公表資料を基に作成

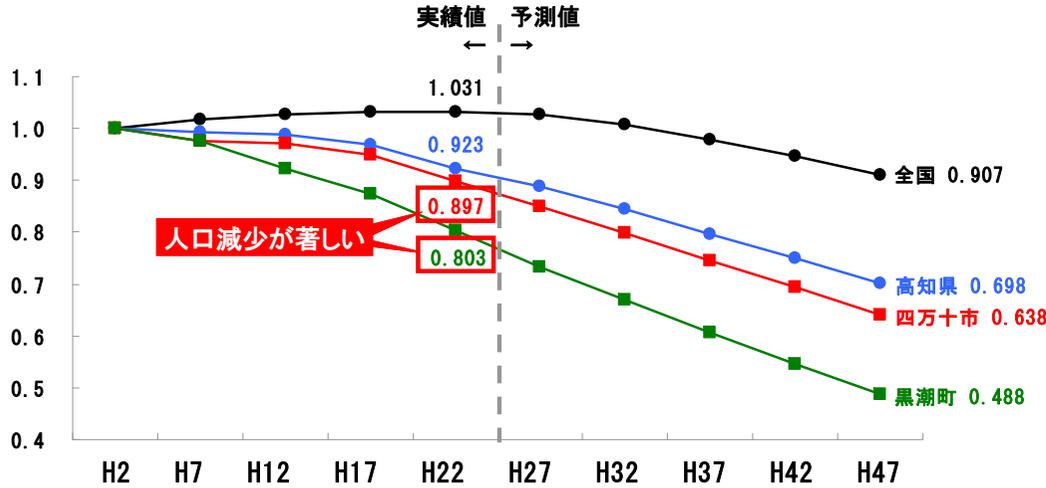
幹線避難道イメージ

2. 地域の現状と課題(人口減少と高齢化)

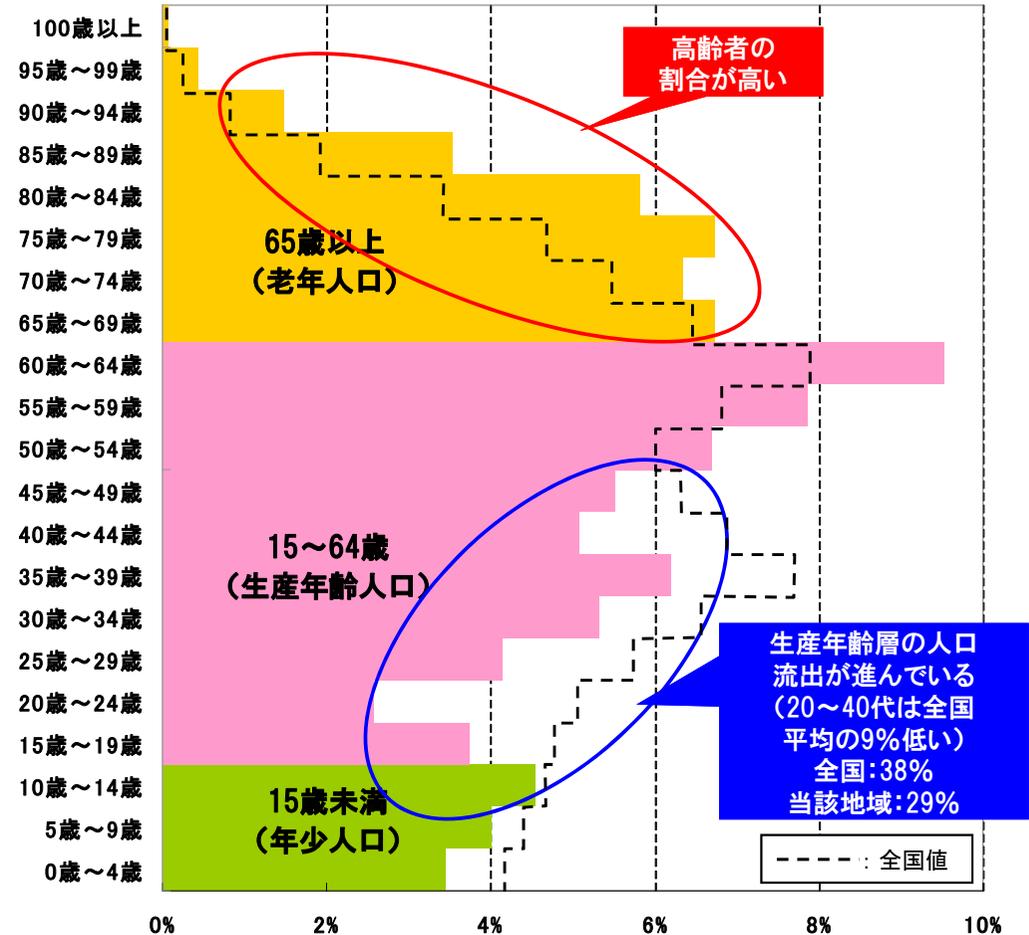
現状
課題

○全国的に人口減少・高齢化が進んでおり、将来的にも、さらに加速すると予測されている。
○特に、黒潮町、四万十市は、人口減少・高齢化が著しく、生産年齢層の人口流出も進んでいる。

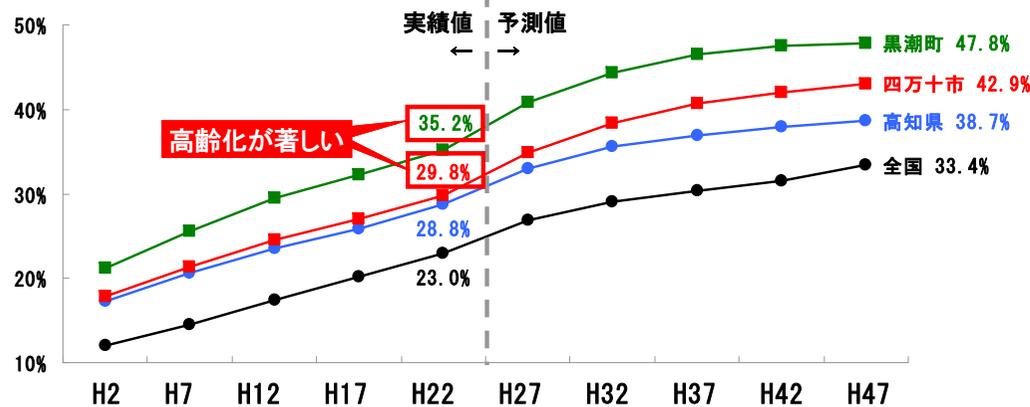
▼人口の推移(平成2年を1.0とした場合)



▼当該地域の年齢別人口



▼高齢化率(65歳以上人口割合)の推移



出典：H22国勢調査 黒潮町、四万十市の合計値

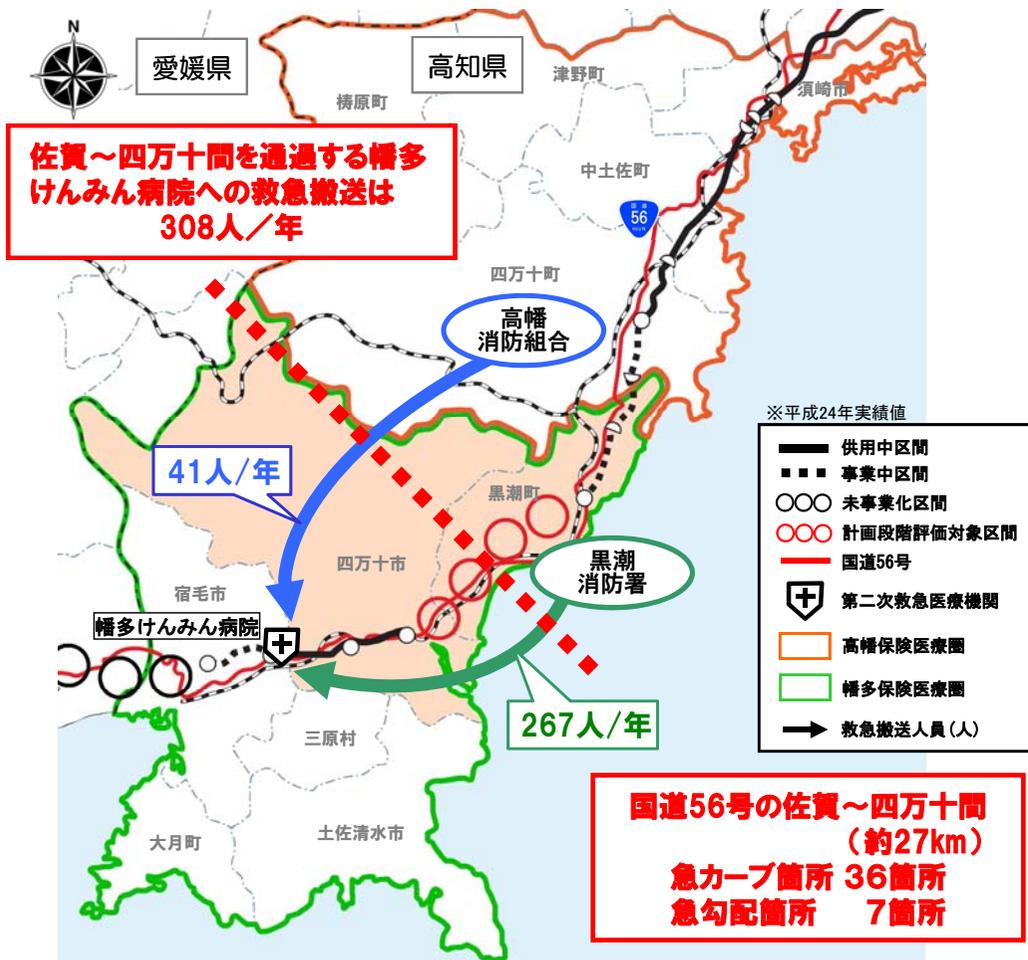
出典：【実績値】「国勢調査」総務省
【予測値】「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」国立社会保障・人口問題研究所

2. 地域の現状と課題(医療)

現状・課題

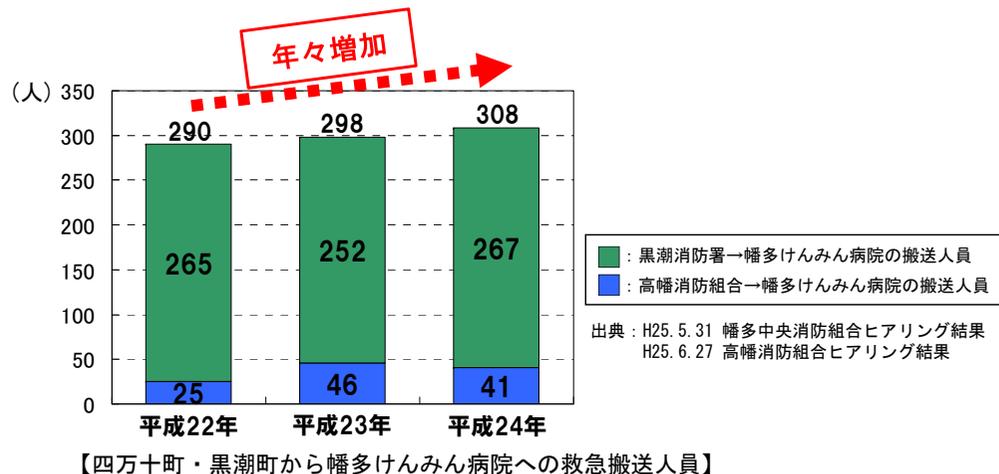
- 佐賀～四万十間を通過する幡多けんみん病院への救急搬送は、年間308人で年々増加傾向。
- 第三次救急医療機関への移動は、約2時間も要し、迅速な治療が受けられない。
- 国道56号には、急カーブや急勾配箇所が多数あり、患者の負担となっている。

▼幡多けんみん病院では広域の救急患者を受け入れている



▼第二次救急医療機関の現状

○幡多けんみん病院は、当該地域の中核となる第二次救急医療機関であり、四万十町や黒潮町からも救急患者を受け入れている。



▼第三次救急医療機関への移動は、約2時間も要する



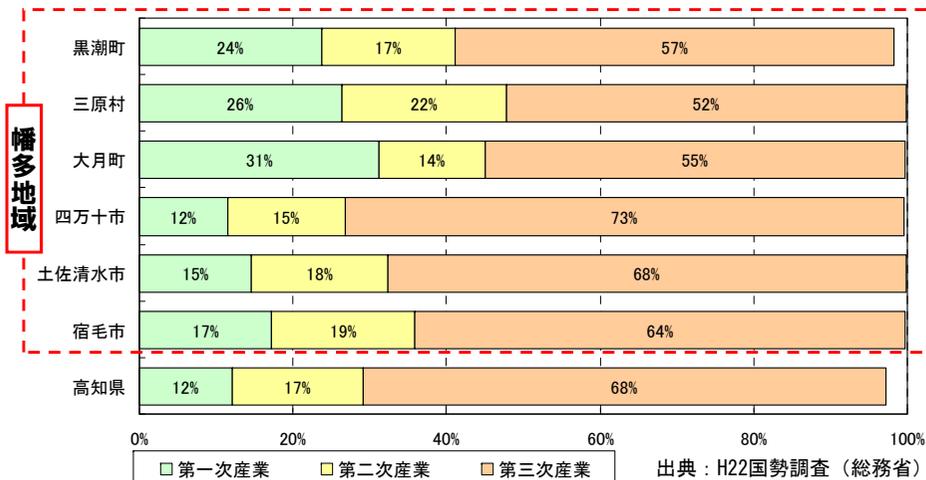
●救急救命士等の声
・バイパスができて道路が良くなれば、救急車の振動・揺れが減少し、ブレーキをかける必要がなくなるので、非常に助かる。
～黒潮消防署ヒアリング(H23.2.17実施)より～

2. 地域の現状と課題(産業)

現状・課題

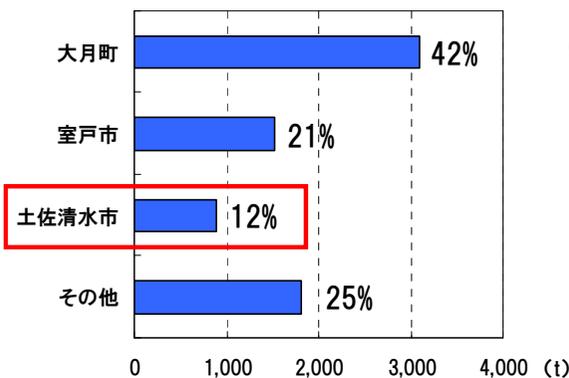
- 土佐清水市は県内でも有数の「さば」の漁業基地で、他のさばと差別化しブランド化された「土佐の清水さば」が有名である。
- 「清水さば」は鮮度が落ちやすいため、輸送は主に高知市であり、販路拡大のため輸送時間の短縮が課題。
- 国道56号には、急カーブや急勾配箇所が多数あり、品質低下を招く要因となっている。

▼幡多地域は県平均に比べて第一次産業の労働人口割合が高い



※不詳分類があるため合計値が100%にならない
 ※幡多地域とは四万十市、土佐清水市、宿毛市、黒潮町、大月町、三原村で構成される地域

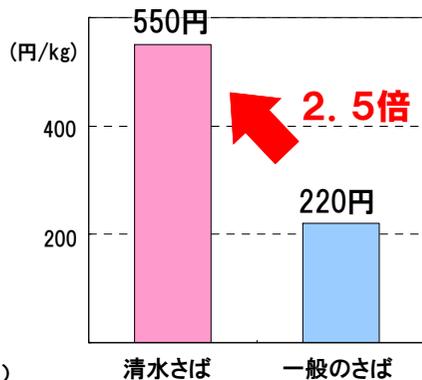
▼県内でも有数の漁獲量



【さば漁獲量と県内シェア】

出典：農林水産省 海面漁業生産統計調査 (H23)

▼高いブランド力



【高知市場での活魚卸売価格】

出典：卸業者ヒアリング

▼水産物の輸送に時間を要する幡多地域



●水産関係者の声

- ・土佐清水市のブランド品である「清水さば」は、鮮度が落ちやすく、**大消費地である阪神地域まで運ぶことができません**、主に高知市内で流通しています。大阪まで運べば1割は死んでしまい損失が大きいのでは運べません。
- ・国道56号は、**急カーブや急勾配箇所が多く、活魚輸送では揺れや振動により傷ができ商品価値が低下、また、ドライバーの負担も大きい**状況です。
- ・量販店や市場関係者との連携したPR活動や県外の市場関係者と交流を行い知名度の向上や販路拡大の努力はしている。高速道路が延伸し輸送時間が短縮されれば消費拡大や商品価値向上が期待できます。

～高知県漁協土佐清水統括支所、土佐清水市ヒアリング(H25.12.4実施)より～

2. 地域の現状と課題(観光)

現状・課題

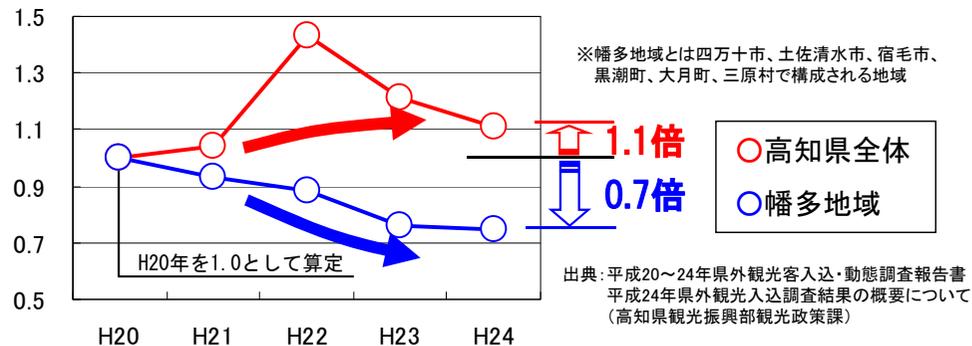
- 高知県全体の観光客数が増加傾向にある中、幡多地域の観光客数は減少傾向となっていた。
- 平成24年12月の高速道路延伸により、四万十町では観光客数が増加。
- 幡多地域においては、地域活性化の観点から点在する観光資源を相互に連携し、地域内外の交流を促進させることが課題となっている。

▼高速道路開通後、四万十町では観光客が増加

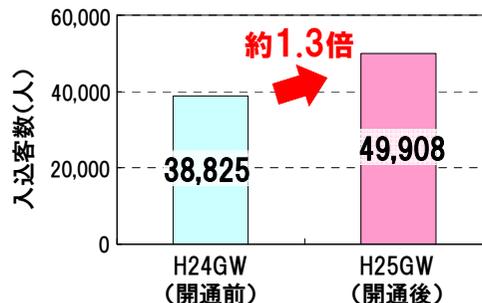


出典：公財 高知県観光コンベンション協会 移動距離及び移動時間：H22道路交通センサスの道路延長及び、平均旅行速度を基に算出

▼減少傾向の幡多地域の観光客数



▼高速道路開通後は観光客数が増加



【四万十町・幡多地域の主要観光施設の観光入込客数】

出典：公財 高知県観光コンベンション協会
〈集計期間〉
H24GW：平成24年4月28日～4月30日、5月3日～5月6日(休日7日間)
H25GW：平成25年4月27日～4月29日、5月3日～5月6日(休日7日間)

高速道路効果恐るべし あぐり窪川に1万人

中土佐もGW並み
延後初ササマ

出典：H24.12.18 高知新聞

▼伸び悩む幡多地域の観光施設

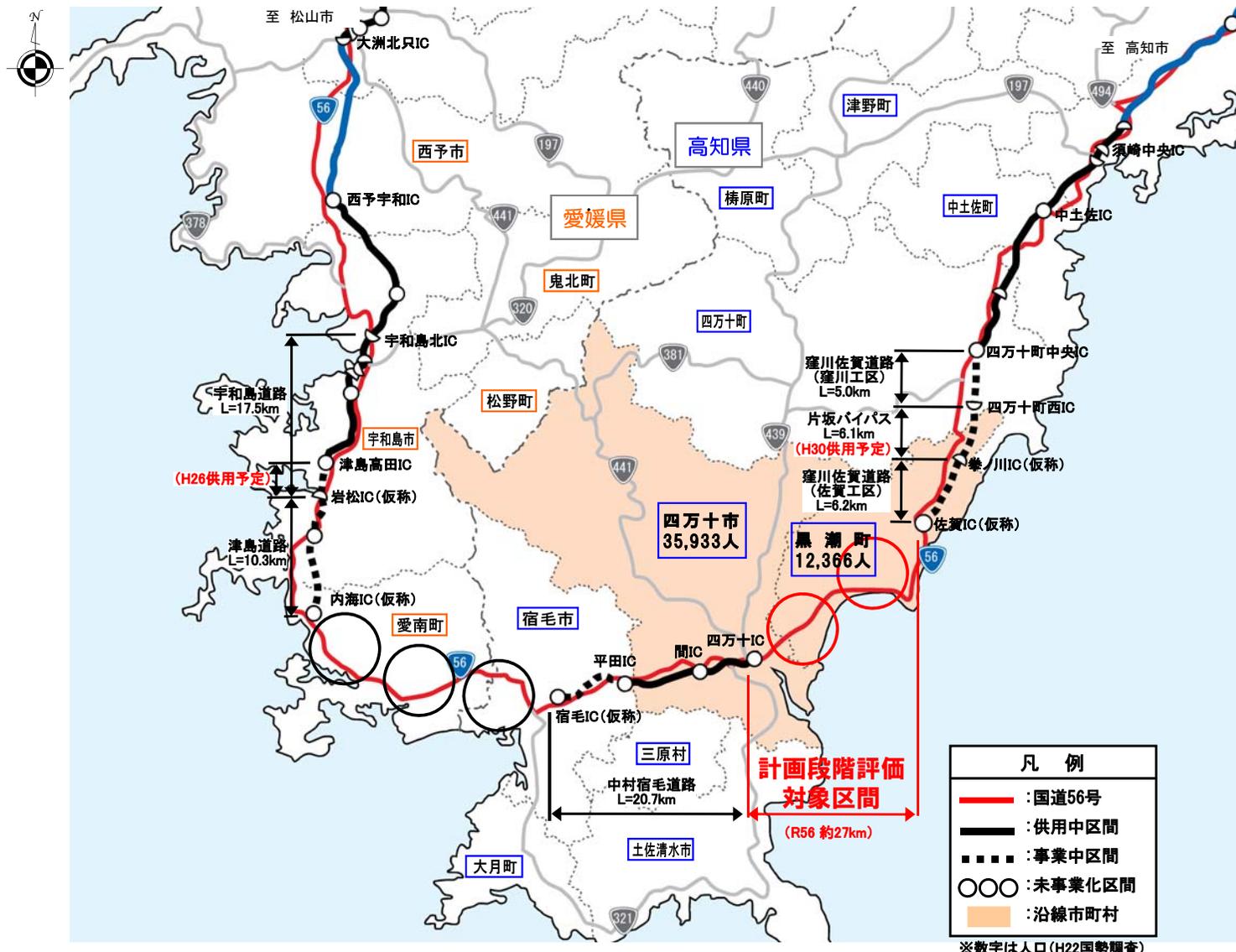


3. 道路の現状と課題

現状
課題

- 四国西南地域において、国道56号は唯一の幹線道路であり、沿岸部に位置している。
- 四国西南地域の四国8の字ネットワークには、ミッシングリンクがあり、国道56号は代替路がない。

▼四国西南地域で唯一の幹線道路である国道56号と四国8の字ネットワークの整備状況

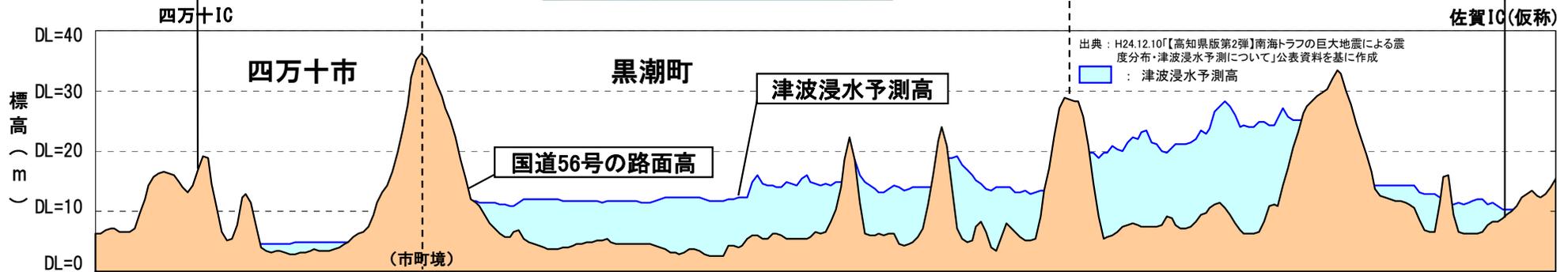


3. 道路の現状と課題(地震・津波)

現状
課題

○国道56号の佐賀～四万十間では、津波により約7割(最大浸水深約18m)が浸水すると予測されている。
○当該地域では代替路がないため、地域が分断・孤立し、救命・救助が遅れることが課題となっている。

▼国道56号(佐賀～四万十間)の約7割が津波浸水



3. 道路の現状と課題(急カーブ・急勾配)

現状・課題

○国道56号の佐賀～四万十間には、急カーブや急勾配の箇所が多数あり、走行性が課題となっている。

▼佐賀～四万十間には、急カーブ箇所が36箇所、急勾配箇所が7箇所存在



急カーブ箇所での事故 (黒潮町灘)



急カーブ連続箇所 (黒潮町佐賀)



急カーブ連続箇所 (黒潮町佐賀)

4. 政策目標(案)

地域の現状と課題

①南海トラフ巨大地震

- 震度7の揺れ、高い津波により広範囲で甚大な被害が想定
- 地震・津波発生時に、地域の分断・孤立、確実に避難できるかが課題
- 防災拠点施設への円滑な救命・救助部隊のアクセスを確保することが今後の課題

②医療

- 高齢者の増加により、医療サービスのニーズが増加
- 佐賀～四万十間を通過する救急搬送は、年々増加傾向
- 第三次救急医療機関への移動は、約2時間も要し、迅速な治療が受けられない
- 現道の急カーブ等が患者の負担となっている

③産業

- 地域の水産物(「清水さば」など)の販路拡大や地場産業の発展が課題
- 現道の急カーブ等が品質低下を招く要因となっている

④観光

- 幡多地域全体の観光客数の増加まで至っていない
- 地域活性化のため、交流の促進が課題

道路による要因

- 国道56号(佐賀～四万十間)の津波浸水が課題
- 代替路となる道路がない

- 現道の速達性が課題
- 現道は急カーブ、急勾配箇所が多く、走行性が課題

- 現道の速達性が課題
- 現道は急カーブ、急勾配箇所が多く、走行性が課題

- 現道の速達性が課題
- 現道では、地域の観光資源間の連絡が弱い

政策目標(案)

①南海トラフ巨大地震に備えた信頼性の高いネットワークの確保

- ・代替路の確保
- ・防災拠点施設や避難路との連携

②救急医療機関への速達性の向上・安静搬送の実現

③速達性・走行性の向上により産業振興を支援

④地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援

5. 意見聴取方法(案)

(1) 意見聴取の基本方針

○政策目標(案)の確認のため、地域の課題、道路の役割に対して意見を伺う。

(2) 意見聴取の対象者と方法

対象者・実施方法	
ヒアリング	【自治体及び団体代表者】 県・関係市町村・団体へインタビュー形式でのヒアリング 自治体: 高知県、四万十市、黒潮町、宿毛市、土佐清水市、大月町、三原村 各団体等: トラック協会、商会議所、商工会、消防署、警察、バス事業者、農協、漁協、観光協会および、市町村が地域代表として推薦いただける地域の活動団体
	【道路利用者】 関係市町村の道の駅、観光施設の利用者へインタビュー形式でのヒアリング
	【地域住民】 四万十市、黒潮町の住民へ郵送配布 四万十市: 旧中村市の全世帯に配布 約 13,600部 黒潮町 : 全世帯に配布 約 5,100部
アンケート	【企業等】 関係市町村の企業へ郵送配布 約 3,500部 各企業: 製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉等 約 3,500部
	【道路利用者】 道の駅・観光施設等への常設、WEB(HP掲載)による実施

■意見聴取範囲



(3) 第1回アンケートにおける質問内容

問1 あなたの住む地域*の課題は、どのようなものがありますか？

※黒潮町、四万十市

次のa～eについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
a 地震や津波の発生により、地域が分断され、孤立する	1	2	3	4	5
b 高度な治療ができる病院が遠く時間がかかる	1	2	3	4	5
c 高齢化が進み若い世代が地域から流出している	1	2	3	4	5
d 水産業など地域産業が伸び悩んでいる	1	2	3	4	5
e 観光資源は豊富だが、観光客が増えない	1	2	3	4	5

上記a～e以外で、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

問2 あなたの住む地域には、どのような役割をもつ道路が必要と思いますか？

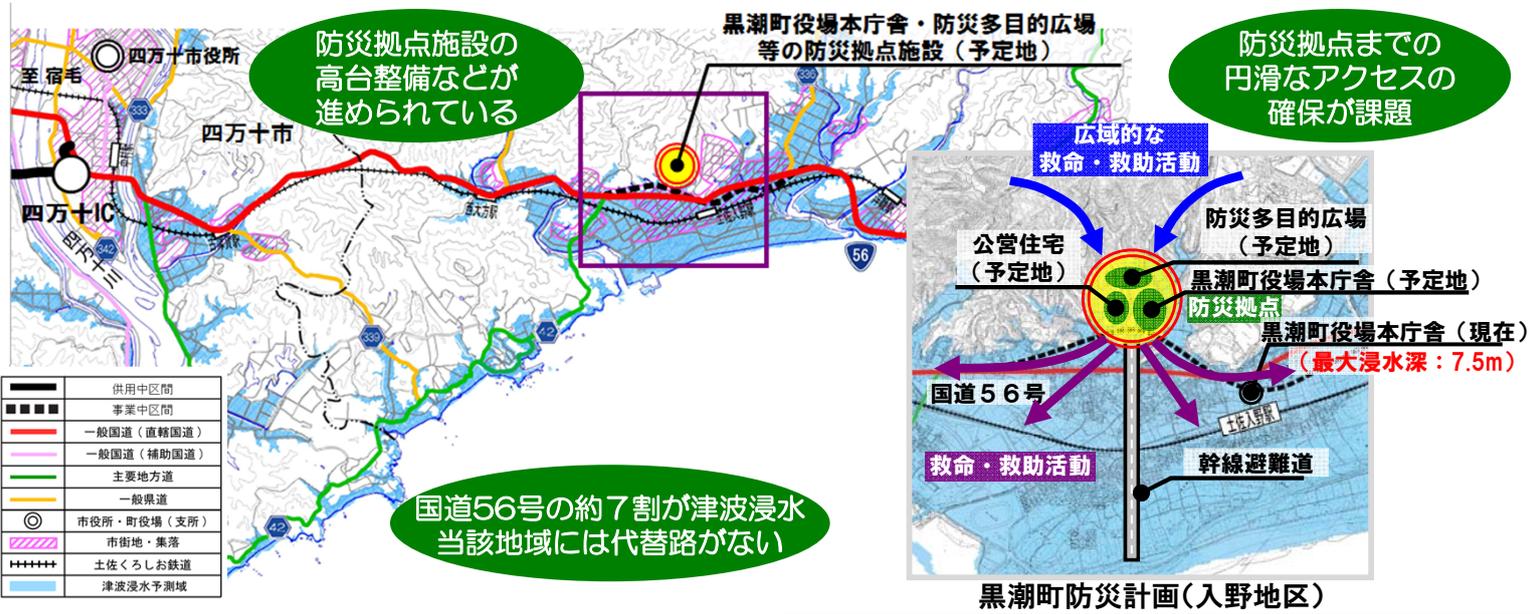
次のa～eについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
a 地震・津波に強く、国道56号の代わりとして利用できる道路	1	2	3	4	5
b 災害時の円滑な救命・救助活動のため、地域の防災拠点施設や避難路と連絡できる道路	1	2	3	4	5
c 救急病院へ早くスムーズに行くことができる道路	1	2	3	4	5
d 速達性・走行性の向上により、産業振興につながる道路	1	2	3	4	5
e 交流促進により、広域的な観光振興を支える道路	1	2	3	4	5

上記a～e以外で、道路に期待していることなどがあれば、ご自由にお書きください。

問3 その他、佐賀～四万十間について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

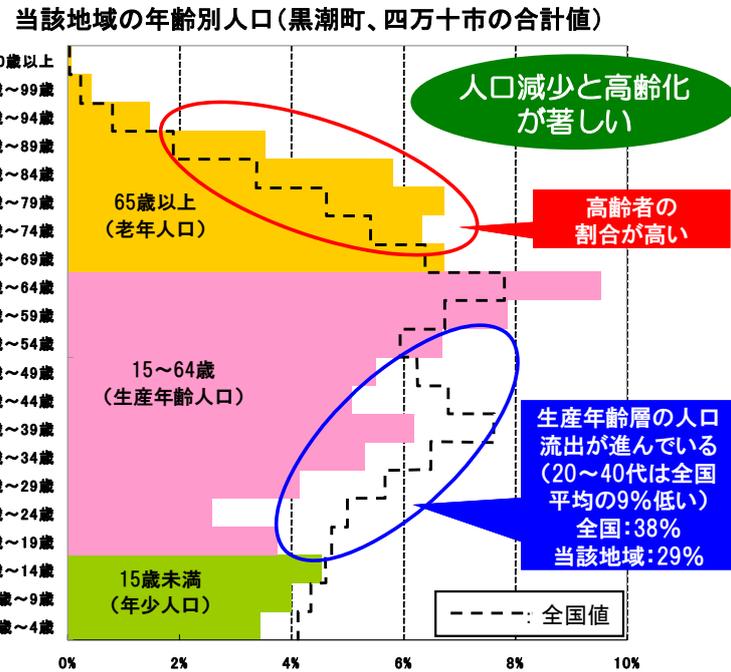
【防災まちづくり】 防災拠点施設への円滑なアクセスを確保することが今後の課題



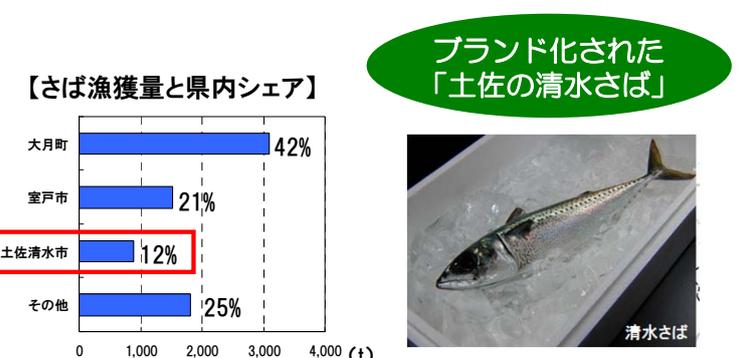
【医療】 病院まで遠く迅速な治療が受けられない



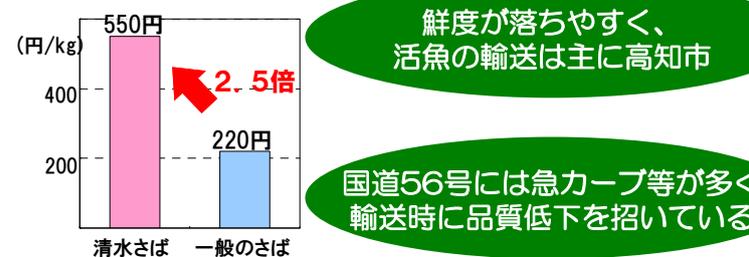
【人口減少と高齢化】 若い世代が地域から流出



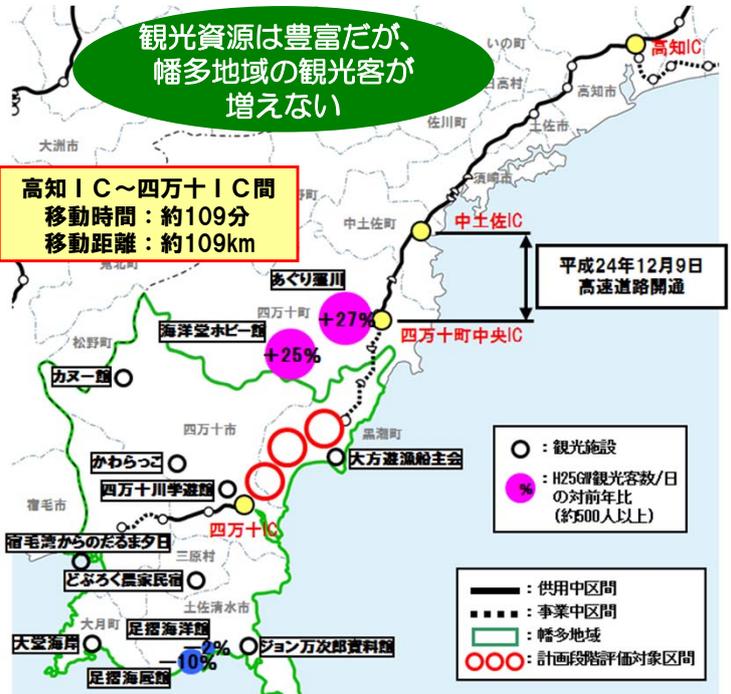
【産業】 地域の水産物の販路拡大が課題



【高知市場での活魚卸売価格】



【観光】 地域内外の交流促進が課題



佐賀～四万十間のアンケート

アンケートの今後の流れ

第1回アンケート

アンケート
結果の分析

第2回アンケート

対策案の検討

現在は
この段階です



回答はがき(返信用)

郵便はがき

000 00000

000

料金受取人払郵便

〇〇郵便局
承認

0000

差出有効期限
平成26年〇月〇日
(切手不要)

国土交通省 四国地方整備局
中村河川国道事務所
〇〇〇課

〇〇〇アンケート係 行



アンケートのお問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局
中村河川国道事務所 〇〇〇課〇〇〇アンケート係

〒
TEL 000-000-0000

みなさまのご意見をお待ちしております。

◆ご回答いただいた方ご自身のことについて
該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。
その他を選択された方は()内に具体的な内容をお書きください。

1) 住所	1. 高知県黒潮町 2. 高知県四万十市 3. その他()
2) 性別	1. 男性 2. 女性
3) 年齢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代以上

◆国道56号(佐賀～四万十間)の利用状況について
該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。
その他を選択された方は()内に具体的な内容をお書きください。

1) 現在の国道56号(佐賀～四万十間)の利用頻度を教えてください	1. 毎日 2. 週2～3回程度 3. 月2～3回程度 4. ほとんど利用しない 5. 利用したことがない 6. その他()
2) 国道56号(佐賀～四万十間)の主な利用目的を教えてください	1. 通勤 2. 通学 3. 家事・買い物 4. 仕事 5. 観光・レジャー 6. その他()

※本アンケートでお答えいただいた意見および個人情報、他の目的で使用したり、第三者に使用させたりすることは一切いたしません。

◆ご回答いただいた方ご自身のことについて

該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。その他を選択された方は()内に具体的な内容をお書き下さい。

◆国道56号の利用状況について

国道56号佐賀～四万十間の利用頻度および主な利用目的(自動車などでの)についてお伺いします。該当するものを選んで、番号に○をつけてください。

佐賀～四万十間のアンケートにお答えください。

(回答は、下の“回答はがき”に記入してください。)

別紙の「地域の現状と課題」をご覧ください。下記の設問にお答え下さい。

問1 あなたの住む地域*の課題は、どのようなものがありますか？

※黒潮町、四万十市

次のa～eについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

- a 地震や津波の発生により、地域が分断され、孤立する
- b 高度な治療ができる病院が遠く時間がかかる
- c 高齢化が進み若い世代が地域から流出している
- d 水産業など地域産業が伸び悩んでいる
- e 観光資源は豊富だが、観光客が増えない

上記a～e以外で、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

問2 あなたの住む地域には、どのような役割をもつ道路が必要と思いますか？

次のa～eについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

- a 地震・津波に強く、国道56号の代わりとして利用できる道路
- b 災害時の円滑な救命・救助活動のため、地域の防災拠点施設や避難路と連絡できる道路
- c 救急病院へ早くスムーズに行くことができる道路
- d 速達性・走行性の向上により、産業振興につながる道路
- e 交流促進により、広域的な観光振興を支える道路

上記a～e以外で、道路に期待していることなどがあれば、ご自由にお書きください。

問3 その他、佐賀～四万十間について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ありがとうございました。

■回答方法

- ・回答は、右記の返信用はがきに記入し、切り取って郵便ポストに投函してください。

■締め切り

- ・平成26年〇月〇日までに投函願います。



回答はがき(返信用)

キリトリ線

問1

あなたの住む地域*の課題は、どのようなものがありますか？

※黒潮町、四万十市

次の a～e について、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
a 地震や津波の発生により、地域が分断され、孤立する	1	2	3	4	5
b 高度な治療ができる病院が遠く時間がかかる	1	2	3	4	5
c 高齢化が進み若い世代が地域から流出している	1	2	3	4	5
d 水産業など地域産業が伸び悩んでいる	1	2	3	4	5
e 観光資源は豊富だが、観光客が増えない	1	2	3	4	5

上記a～e以外で、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

問2

あなたの住む地域には、どのような役割をもつ道路が必要と思いますか？

次の a～e について、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
a 地震・津波に強く、国道56号の代わりとして利用できる道路	1	2	3	4	5
b 災害時の円滑な救命・救助活動のため、地域の防災拠点施設や避難路と連絡できる道路	1	2	3	4	5
c 救急病院へ早くスムーズに行くことができる道路	1	2	3	4	5
d 速達性・走行性の向上により、産業振興につながる道路	1	2	3	4	5
e 交流促進により、広域的な観光振興を支える道路	1	2	3	4	5

上記a～e以外で、道路に期待していることなどがあれば、ご自由にお書きください。

問3

その他、佐賀～四万十間について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。